令和４年度

佐佐木信綱記念館特別展

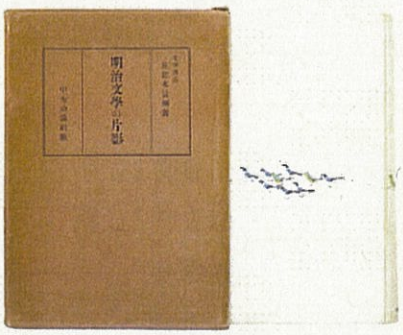
佐佐木信綱

信綱の思ひ出づる人々

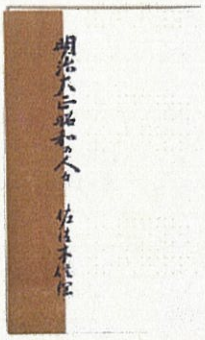
開催期間 2023年 1月18日(水)～3月19日(日)

入館無料

佐佐木信綱　自伝著書4冊　（すべて佐佐木信綱記念館蔵）

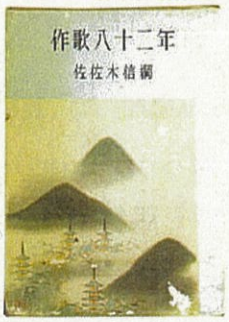


『明治文学の片影』
中央公論社　昭和9年



『明治大正昭和の人々』
新樹社　昭和36年

『ある老歌人の思ひ出
—自伝と交友の面影—』
朝日新聞社　昭和28年



『作歌八十二年』
毎日新聞社　昭和34年

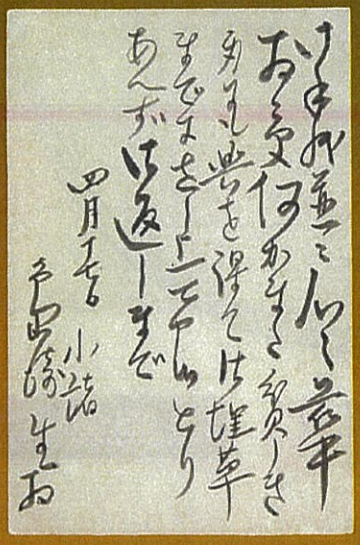
佐佐木信綱記念館　三重県鈴鹿市石薬師町1707-3

- 開館時間　9時～16時30分　■入館料　無料
- 休館日　月曜日（休日の場合翌日）、第3火曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
- 付属施設　資料館、生家、土蔵、石薬師文庫閲覧所
- アクセス　近鉄鈴鹿市駅からC-BUSにて佐佐木記念館下車徒歩約2分
  近鉄四日市駅から三重交通バスにて佐々木記念館下車徒歩約3分
  東名阪自動車道鈴鹿ICから車で約20分
- 主催　鈴鹿市

佐佐木信綱記念館 HP

鈴鹿市文化スポーツ部文化財課　TEL 059-382-9031　FAX 059-382-9071　URL http://suzuka-bunka.jp/sasaki/

『新萬葉集』竟宴 昭和13年9月25日 紅葉館にて



信綱宛葉書　島崎藤村
明治〇年4月17日

『心の花』一葉女史記念号
第26巻12号竹柏会
大正11年12月

信綱宛葉書　尾崎紅葉
某年1月31日

『麗人九条武子』佐佐木信綱著
弘文社　昭和9年

（すべて佐佐木信綱記念館蔵）

明治・大正・昭和の三時代を生きた佐佐木信綱。

明治5年6月3日石薬師村に生まれてから150年の歳月が過ぎました。同年生まれには樋口一葉、島崎藤村がいます。信綱の生涯を振り返ってみると、信綱の身辺には、常によき先達・よき友・よき後進が集い、多くの人々との交流がみられました。

信綱の自著『明治文学の片影』には、**「先輩交友からおくられた書簡を収めて、その思ひ出を書き識すこととする」**と序文にあるように、100人の文化人の書簡の写真とその解説から構成されており、『明治大正昭和の人々』では、約250名の人々との交遊を記しています。

今回の特別展では、“明治人”をキーワードに、学界・芸術界、「心の花」の門人たちとの親交の一端に触れ、大切に残されてきた関係資料を交えて、信綱の思ひ出づる人々を紹介します。

展示説明会

学芸員によるギャラリートークを開催します。
お気軽にご参加ください。

日　時	2月10日㈮ 10時30分 3月　3日㈮ 13時30分
会　場	記念館1階展示室
申　込	不要
参加費	無料
所要時間	30～40分程度

配布物

先着500名様に、展示内容を解説した図録を無料で配布いたします。